

通知表を効果的に上げるには

通知表をあげたければ、学年があがる年度替わりのときにがんばるのが効果的です。

下の表はうちの塾生の昨年から今年1学期にかけての9科目の通知表合計点がどう変化したかを示しています。

%	-9~-5	-4~-2	-1~+1	+2~+4	+5~+9
1学期→2学期	0	7	72	21	0
2学期→学年末	0	21	58	21	0
学年末→1学期	36	21	21	7	14

例えば、昨年1学期についての通知表（9科目合計）は2学期になるときに72%がほとんど変わらなかったこと（上がっても下がっても1だけ）を示しています。

この表は同一メンバーの変化を示していますが、やはり5以上あがったり下がったりするのは学年末から1学期へのときに限られています。この傾向は程度の差はあるものの、過去のデータから見ても「塾屋の常識」といってよいでしょう。

そもそも通知表をつける先生の立場から考えると、これは至極当然のことです。つまり例えば2学期の成績を付ける際には、どうしても1学期に付けた評価がその生徒の基準になってしまいます。さらに学年末では3学期の結果だけでなく、1年間全体の評価ということになり、1・2学期の評価と平均化されるため、大きく変動しないのです。つまりクラスメンバーや担当も替わり、まっさらな気持ちで評価ができるのは1学期だけということになるのです。

これを逆に言えば、夏休み以降にがんばったところで成績を大きく上げることはできないということになります。もちろん2学期以降の努力が無意味というわけではありませんが、効果としてはやはり年度替わりほどには大きくないと思います。

今年は特に大きく変動した塾生が多いようですが、その原因は自分自身が理解していますね。

'05年度1学期通知表結果

9科目別平均	英語	数学	国語	社会	理科	5科目計	音楽	美術	保体	技家	9科目計
1	4.9	4.6	4.0	4.4	4.2	22.1	4.0	3.2	3.8	3.8	36.9
2	4.1	4.1	3.4	3.9	3.4	19.0	3.2	3.8	3.1	3.2	32.3
3	5.0	4.6	4.6	4.4	4.2	22.8	4.2	4.0	4.2	4.0	39.2

5科目別内申評定割合 (%)

	英語	数学	国語	社会	理科
5	74	52	26	43	26
4	13	35	39	39	48
3	13	13	35	13	17
2	0	0	0	4	9
1	0	0	0	0	0

9科目合計内申割合 (%)

	'05	'04	'03	'02
40~45	17	33	64	18
36~39	48	37	15	41
32~35	13	10	18	32
27~31	13	13	3	9
9~26	9	7	0	0